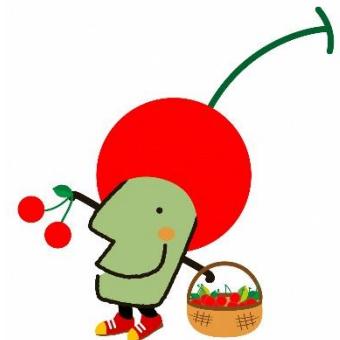


今年度の主な取組みについて



■取組みのポイント

1. 山形の強みを生かした滞在型観光や高付加価値な旅行の推進
2. 全ての人にやさしい観光地づくり・DXの推進による観光産業の活性化
3. ターゲットの嗜好に基づく戦略的なプロモーションの推進
4. インバウンド・アウトバウンドの促進による海外との相互交流の促進

1. 山形の強みを生かした滞在型観光や高付加価値な旅行の推進

(1) 『さくらんぼ県やまがた』観光誘客の促進

令和7年度の「やまがたフルーツ150周年」を契機として、インフルエンサーを活用したさくらんぼ狩りを含む観光情報の配信や、ラッピングバスの運行など、さくらんぼを活用した観光誘客の取組みを行い、県内観光地への誘客拡大を図る。



○ 「さくらんぼ県やまがた」観光魅力発信事業

インフルエンサーを活用して、さくらんぼ狩り等と観光地やものづくり、精神文化、朝パフェなどを組み合わせたお薦め観光モデルコースを動画で配信



○ 「さくらんぼ県やまがた」ラッピングバスの運行

高速バスや空港発着連絡バスに「さくらんぼ」をラッピングしてPR

▶運行期間：5/1～7/31



○ 観光果樹園と連携した教育旅行の受入れ

「さくらんぼ」を活用した探究学習プログラムの開発及び教育旅行モニターツアーの受入れ

1. 山形の強みを生かした滞在型観光や高付加価値な旅行の推進

(2) 持続可能な山岳ツーリズムの強化

地球温暖化等の影響を踏まえた蔵王の新たな樹氷鑑賞地のPRや、冬だけではない四季を通じた山岳リゾートとしての蔵王エリアの魅力発信を図る。

○ 四季を通じた山岳リゾートとしての蔵王エリアの魅力発信動画の制作

蔵王坊平側の樹氷や氷瀑、蔵王温泉側での霧氷等といった蔵王温泉側の樹氷以外の冬季コンテンツや、冬期以外の季節における蔵王エリアの魅力を発信する動画を制作。



○ 海外プロモーションの展開

台湾及びタイのインバウンド（個人旅行者）をターゲットとして、冬季の局所的なインバウンド需要を、同時期の蔵王エリアにおける他地域や樹氷以外の蔵王エリア内のコンテンツあるいは冬期以外の季節へ分散・平準化させつつ観光誘客を図るためにプロモーションを展開。



1. 山形の強みを生かした滞在型観光や高付加価値な旅行の推進

(3) やまがた出羽百観音プロジェクト

目的

本県が誇る精神文化の一つとしてのブランドを確立し、次世代に受け継ぐとともに、観光誘客に資する地域資源として活用することにより観光交流人口の拡大を図る。

これまでの分析から見えた課題

- 1 団体巡礼の減少と巡礼者の高齢化
- 2 値値觀の多様化への対応
- 3 三十三観音の理解度、知名度の低さ
- 4 受入態勢の維持
- 5 三十三観音の連携構築



プロジェクト推進方針

- ◆「やまがた出羽百観音」の「百」が持つ特別感や巡る楽しみを創出
- ◆身近で体験できる精神文化として次世代へ継承することを目指す

事業展開方向

- 1 巡礼文化の振興と地域資源としての活用促進・ブランドの確立
- 2 多様なニーズに対応した魅力ある誘客企画の実施
- 3 全国的な知名度向上のための情報発信の強化
- 4 持続可能な取組みに向けた人材育成と受入態勢の整備



やまがた出羽百観音とは

- ・観音様は詣で祈る人の願いに寄り添い、三十三の姿となってこれを救うとされていることから、三十三か所の観音堂をお参りし二世安樂を願う巡礼が行われた。
- ・県内の最上、庄内、置賜の三つの三十三観音を総称して「出羽百観音」と呼んでいる。

2. 全ての人にやさしい観光地づくり・DXの推進による観光産業の活性化

(1) アクセシブルツーリズム※の推進

○アクセシブルツーリズム受入機運釀成・受入態勢整備

- ・県内観光施設におけるアクセシブルツーリズム対応の充実強化を図るための研修会の開催や、県内観光施設のアクセシブルツーリズム対応状況の発信
- ・宿泊・立寄施設等が行う、多機能トイレへの改修、段差解消、表示の多言語化等への支援



【主なバリアフリーマーク】

○二次交通などの環境改善・向上

- ・銀山温泉と県内観光地を結ぶ広域連携に向けた調査・検討、二次交通モデル事業の実施
- ・東北のハブ空港である仙台空港から本県へのスムーズな移動を可能とするアクセスの充実や交通手段の情報発信



※ 英語の「ACCESSIBILITY（利用しやすい）」に由来し、移動等の困難さに直面する人々のニーズに応えながら、誰もが旅を楽しめることを目指す取り組みのこと。主に国内だけで用いられる類語の「ユニバーサルツーリズム」ではなく、海外（特に欧米）で通用している「アクセシブルツーリズム」を標榜するもの。

2. 全ての人にやさしい観光地づくり・DXの推進による観光産業の活性化

(2) 観光DX推進や高付加価値化等の取組みに対する支援

○ 各取組みに対する助成

助成対象者：山形県内の観光事業者（宿泊事業者、観光立寄施設、観光協会 等）

助成対象：①DXの推進に向けた取組み、②高付加価値化に向けた取組み、
③アクセシブルツーリズムの推進に向けた取組み

※観光協会・DMO・DMCが実施する場合、他の事業者と連携したものに限る。

助成率・助成上限額：

区分	助成率	助成上限額 (1事業者当たり)
(1) DXの推進に向けた取組みに要する経費	2/3	100万円 (150万円 ※)
(2) 高付加価値化に向けた取組みに要する経費	1/2	100万円 (150万円 ※)
(3) アクセシブルツーリズム推進の取組みに要する経費	1/2	100万円

※他事業者と連携した取組（面的整備）または、経営力強化等に資する取組で一定の基準を満たす場合、助成上限額を150万円に引上げ。ただし、1事業者あたりの助成上限額は、(1)と(2)を合わせて250万円まで。

【スケジュール】

- 申請書提出〆切：令和7年4月30日（6月上旬頃に交付決定）
- 事業実施期間：交付決定の日から令和8年1月30日まで



【問合せ先】（公社）山形県観光物産協会

2. 全ての人にやさしい観光地づくり・DXの推進による観光産業の活性化

○ 観光業専門アドバイザーの派遣等による伴走支援

派遣対象者：山形県内の観光事業者（宿泊施設、観光立寄施設、観光協会 等）

派遣対象：①DXの推進に向けた取組み、②高付加価値化に向けた取組み、
③経営改善等に向けた取組み



【1回あたりの支援額（税込）】原則、最大5回まで利用可能※

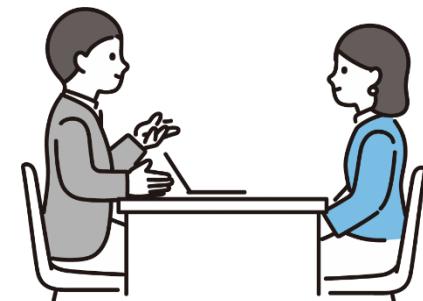
支援時間3時間以上：40,000円、3時間未満：30,000円、2時間未満：20,000円

（上記とは別に、旅費（実費相当分）についても支援）

※令和5年度及び令和6年度に利用した事業者は、令和5年度から通算して7回まで利用可能

【スケジュール】

- ・相談受付：令和7年5月12日～令和7年12月26日
- ・アドバイザー派遣：令和7年5月19日～令和8年1月30日



【問合せ先】（公社）山形県観光物産協会

3. ターゲットの嗜好に基づく戦略的なプロモーションの推進

(1) 本県ならではの地域資源×観光DXによる観光誘客・消費拡大の推進

本県が世界に誇る食文化の一つである「ラーメン・そば」等、本県ならではの地域資源を活用し、国内外からの観光誘客やDXによる観光消費額の拡大等を図る取組みを推進。

○ 「『ラーメン県そば王国』フェスタ」の開催

県内の特色あるラーメン・そばが一堂に会するイベントを開催



○ 「ラーメン県そば王国やまがた」ロゴマークやLINEの活用

令和6年度に公募により作成したロゴマークや、LINE公式アカウント「ラーメン県そば王国やまがたサポーターズクラブ」を活用し、県内のラーメン・そばに関する情報や「ラーメン県そば王国」を国内外に広く発信



○ スポーツ等をテーマとした、データ活用による県内周遊の促進

プロスポーツ観戦者の行動・嗜好に関するデータ収集・分析、それらを基にした消費拡大や周遊促進の実証展開

(2) 東京都と連携した観光誘客・プロモーションの展開

東京都と連携し、山形県と東京都の観光資源を生かした周遊施策や効果的な情報発信により、両地域相互での「インバウンドを含む多様な旅行者」の誘致促進や地域経済の活性化を推進。

○ 東京と山形の歴史・文化のストーリーに焦点を当てたデジタルスタンプラリーの実施

○ 県内観光事業者向けセミナーの開催

外国人旅行者の受入れ経験が豊富な都内事業者が講師となり、外国人のもてなし方等のノウハウを提供

○ 各種媒体でのプロモーションの展開

機内誌や女性誌等での記事掲載や、国内外の個人旅行者をターゲットとしたSNSによる情報発信、webメディアへの広告出稿等のプロモーションを実施

3. ターゲットの嗜好に基づく戦略的なプロモーションの推進

(3) 山形県観光情報番組「ワクワク！やまが旅」

地元案内人による案内のものと、**山形県住みます芸人「ソラシド」**のお二人が山形県内の観光スポットを巡り、精神文化、美食・美酒、温泉、自然などとともに、県民の日常の暮らしや風土といった山形の魅力を“深”発見する番組です。

放送局	放送曜日	放送時間
テレ玉 (テレビ埼玉)	毎週日曜	8:00～8:15
	毎週金曜 (再放送)	13:00～13:15
YBC(山形放送)	毎週土曜	9:25～9:40
BSよしもと	翌週土曜	8:30～8:45

テレ玉公式YouTubeチャンネル

YBC山形放送公式YouTubeチャンネル

で過去の放送回を配信中！ぜひご覧ください。

▼番組公式×

ワクワク！やまが旅 @yamagatabi2022



ワクワク！やまが旅

検索

3. ターゲットの嗜好に基づく戦略的なプロモーションの推進

(4) 大阪・関西万博における東北共同プロモーション

大阪・関西万博において、仙台市等が行う「東北絆まつりパレード」の出展と連携し、

(一社) 東北観光推進機構及び東北 6 県の共同により、東北の観光や食・伝統文化等の魅力を発信し、国内外からの来場者に対する「東北」の認知度向上及び本県をはじめとする「東北」への誘客促進を図る。



【出展概要】

- ・出展期間：令和 7 年 6 月 13 日（金）～15 日（日）<3 日間>
- ・出展主体：(一社) 東北観光推進機構、東北 6 県
- ・出展会場：大阪・関西万博会場内 EXPOアリーナ「Matsuiri」
- ・出展内容：VR 映像やステージアトラクション等による、観光をはじめとする東北の魅力発信 等

4. インバウンド・アウトバウンドの促進による海外との相互交流の促進

(1) 高付加価値旅行者の誘客

○ 山形エリア 「雄大な自然と山岳信仰に由来する固有の精神文化」が観光庁のモデル観光地に選定



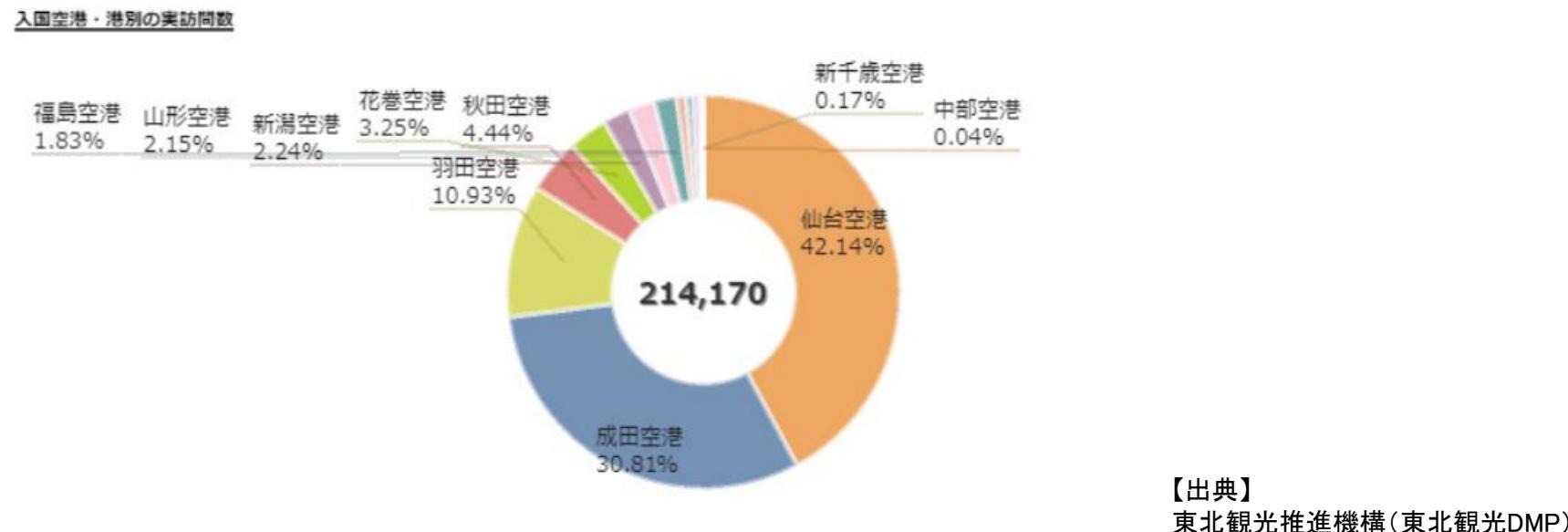
- 訪日旅行における消費単価が高い高付加価値旅行者（着地消費額100万円以上の訪日外国人旅行者）の地方への誘客を促進
- 集中的に施策を講じるモデル観光地を14地域選定
- ウリ（高付加価値層のニーズを満たす滞在価値）
ヤド（上質かつ地域のストーリーを感じる宿泊施設）
ヒト（ガイド、ホスピタリティ）
コネ（高付加価値層とのネットワーク）
アシ（利便性、快適性の高い移動手段）
の5つの観点により観光地づくり

4. インバウンド・アウトバウンドの促進による海外との相互交流の促進

(2) 首都圏や隣県空港からの誘客促進

○ 県外空港から入国する外国人旅行者の誘客促進に向けた取組み

○ 山形県に来県した外国人旅行者の入国空港の割合(2024年)



- 仙台空港からの個人旅行者をターゲットとした海外現地プロモーションの展開
- 東北観光推進機構や隣県と連携した現地旅行博開催やメディア・インフルエンサー、旅行会社招請 等

4. インバウンド・アウトバウンドの促進による海外との相互交流の促進

(3) 県内空港国際便、外航クルーズ船の受入態勢整備



○ 県内空港国際チャーター便の誘致に向けた取組み

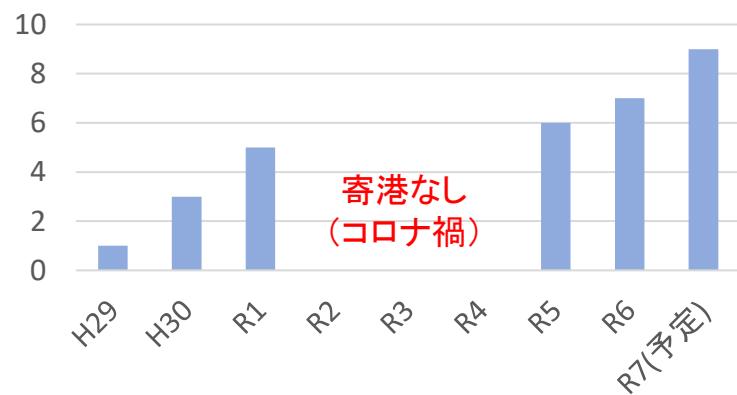
- ・県内空港に発着する国際チャーター便を運航する航空会社に対する着陸料等の支援
- ・県内空港の国際チャーター便を活用した県内宿泊等を伴う旅行商品造成・販売を行う旅行会社に対する助成
- ・現地航空会社・旅行会社へのPR活動やセミナーの開催、現地広告等のプロモーションの展開
- ・関係者が一体となった誘致活動

○ 外航クルーズ船の誘致拡大に向けた取組み

- ・官民一体となった船会社幹部やランドオペレーターの招請など外航クルーズ船の誘致活動
- ・県内消費拡大を伴う受入態勢の構築



酒田港寄港回数



(4) アウトバウンドの促進

- ・県民の海外渡航需要を喚起するためのパスポート取得費用の一部を支援
- ・相互交流の拡大を目的として渡航費用等の一部を支援
- ・国際チャーター便を活用した県民のアウトバウンドの促進